

2024年 2月号

匹田くみこ 市議会たより



白杵市大字白杵70-16 (事務所)
白杵市井村1960番地 (自宅)
TEL&FAX 0972-63-7140
メール kuu.okok@gmail.com

ブログも
見てね!!→



暮らしは政治。安心して暮らせる地域のあり方をみなさんと考えたい。

2024年が始まりました、みなさまいかがお過ごしですか。

最も寒い季節を迎えています、春に向けてエネルギーを蓄え自分らしく過ごしましょう。
私もこれまでの慣習やしがらみにとらわれず、市民主体の市政をめざし活動してまいります。

開かれた議会を求めて



白杵市議会では12月議会の最終日に初の試みとなる「議場コンサート」を開きました。

市民のみなさんに気軽に議場に足を運んでいただき、議会を身近に感じてもらうことで、議会や市政に関心を持っていただくきっかけ作りとして企画しました。



ボランティア出演の「音彩プラスワン」の方々ありがとうございました。白杵にゆかりのある選曲ということで、「吉丸一昌」の曲や「globe」の曲が議場に流れました。議場コンサートに訪れたの方々からは「議場を身近に感じた」などの感想をいただきました。

また、白杵市議会を真に「開かれた議会」とするために、私の所属する「議会運営委員会」ではさまざまな議論を重ねています。

会派「そらいろ白杵」からは以下のような要望を提案しています。

- 定例会の生放送を実施すること(現状は録画配信のみ)
- 議会傍聴に関する細かい規則を省略する(例えば、傍聴前の氏名等の記入を不要とする)
- 議員視察の日程や内容の合理化・スリム化 etc...

……議論の経過はまたご報告します。



同会派「そらいろ白杵」の
平川こうじ議員と

能登半島地震の義援金を募りました!

「令和6年能登半島地震」の募金活動を行いました。

「甥っ子が能登の自衛隊におるんよ」「被災した方々は寒かるなあ」と温かい真心を寄せてくださった**募金額100,971円**は、立憲民主党本部でとりまとめ被災地域に届けさせていただきます。

できる人ができることを、支え合う社会であるために。いつもの日常に感謝しつつ、できることを探りたいと思います。ご協力ありがとうございました。



2023年臼杵市12月定例会のご報告

会派「そらいろ臼杵」の代表質問として立ちました。

臼杵市の未来にとって大切なことは、豊かな自然や歴史・文化などの臼杵ローカルの魅力を磨くこと。同時にグローバルな人権意識と行動基準をまちに根付かせていくことだと思っています。年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らせるまちづくりを念頭において、「人権尊重の地域づくり」について聞きました。

「ジェンダー平等の実現」について

Q 市役所内でのジェンダーバランスを早期に整えなければ、地域において実効性のある男女平等施策を打ち出すことは難しいのではないかと考える。**市役所内の女性管理職の割合は？**

A 市役所の管理職35人中女性は2人→5.3%となっている。女性職員の比率が【50代21.6%、40代40%、30代43%、20代38%】となっており、管理職に当たる年代の女性が少ないためになかなか割合が伸びないが、女性が働きやすいようワークライフバランス※は整ってきている。同時に**管理職候補の女性は確実に育っている。**

※高い育休取得率（女性100% 男性36,4%）※性別に関係なく在宅勤務や時差出勤が可能な制度の利用促進等【お答え：総務課長】

Q 第2次臼杵市男女共同参画基本計画では、女性委員の割合が40%以上の審議会などの全体に占める割合を、2026年までに60%にすることを目指している。**本市の施策に反映される調査・審議の場（各種団体委員）の女性割合は？**

A 29.4%(2021)→33.6%(2022)→36%(2023年)と少しずつ増えている。女性委員の登用をさらに進めるためには市民はもちろん組織の意識変革が重要。男女共同参画の講演会を継続し企業や地域団体への啓発にも力を入れていきたい。【お答え：部落差別解消推進・人権啓発課長】

学校現場における「ジェンダー平等」への取り組みについて。

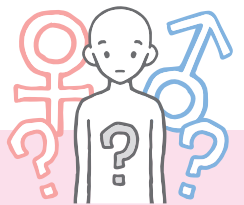


Q **Q1：市内の小学校と中学校の女性管理職の割合は？**

A 臼杵市18校の校長・教頭36名のうち、女性は5名(14%)。大分県の中長期的な目標（R7年度までに女性管理職の割合25%）には達していないが、教務・研究主任に占める女性割合は69%と高い。定期異動方針のなか「能力・適正・意欲」を見ながら配置を進めていく。【お答え：学校教育長】

Q **Q2：小学校中学校における「包括的な性教育」の実施状況は？**

A 正しい知識を身につけさせたい。服装や呼び方などに留意して、男/女にくらなない配慮をしている。プライベートゾーンを認識する～「私の身体は私のもの」と意識できるような学習を、臼杵市独自で年齢に応じて行っている。「避妊」については指導要領では扱わないが、デートDVについてなどは外部講師を入れた学校もあり積極的に進めている。【お答え：学校教育長】



包括的性教育の充実を



インターネットでは性を商品のように扱うなどの差別的な表現が氾濫するなか正しい性教育の必要性を唱える声が高まっています。

自分の身体に関して自らが決断していく**性の主体としての権利**を学び、ジェンダー平等について自分を軸に考えていくことは、**人権尊重の基盤**となります。デートDVや予期せぬ妊娠、性感染症のリスクを防ぐためにも、包括的性教育を充実させていくことは必須であると考えています。

※包括的な性教育とは…生き方の自己決定や健康、尊重し合う人間関係などを目的として、身体や生殖の仕組みはもちろん、文化的な面や社会的な政治的な面など幅広く性を肯定的に学ぶものです。

Q Q3: 来年度からの中学校の制服変更でどのように変わるか?

A ジェンダーレス制服への変更は、SDGs教育やジェンダー平等への視点からも望ましいと思っている。より「自分らしく」過ごすことができると思っている。【お答え: 学校教育長】

上着はブレザーでボトムスは自由。動きやすさや寒さ対策、自己表現などさまざまな面からスラックスorスカートかが選べるのは良いことだと思いますし、男女で二分されない制服のあり方は、市民にとってもジェンダーの多様性を認識するよい機会になると考えます。



すべての人が
能力や個性を發揮し
未来世代の
希望となるように



2020年「第5次男女共同参画基本計画」によれば、2030年代には**誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会**になることを目指すとされており、自治体には「男女平等推進のための計画」を作り、実現する責務を果たすことが示されています。

臼杵市では2023年秋に市民アンケートを行い男女共同参画についての意識調査と現状分析を進めています。今後はそれをもとに幅広い意見を取り入れ、**次期計画づくりを検討する予定**です。

すべての人がその能力や個性を十分に発揮することができる地域をめざし、市民にわかりやすく未来世代の希望につながるような「臼杵市**男女共同参画基本計画**」を!

障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる地域づくりについて

〈質問の背景〉

臼杵市は、「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる臼杵市づくり条例」(2020年度～)、「臼杵市手話言語条例」(2023年～)と、障がい者施策を重ねてきました。2024年度から「障がい者差別解消法」が改正施行され、これまで努力義務であった、企業などの民間事業者による「障がいのある方への合理的配慮の提供」が義務化されることを広く知らせ、本市でも障がい者をめぐる理解増進や啓発活動などを深める契機にしてほしいと思いました。

Q 「障がいのある人もない人も、心豊かに暮らせる臼杵市づくり」のためにどのように取り組みを広げ深めていくのか。

A 「合理的配慮」への具体的な理解を促すような取り組みが必要だと感じている。例えばお店の対応等例えば、車いすの方のために椅子を動かしたり指さしメニューで要件を聞き取ったりといった配慮であるが、障がいのある人の困りは社会の側が解決すべき課題であるという「社会モデル」に基づいた考え方が重要。障害のある人が願う配慮の内容と、企業や事業者が過重な負担のない範囲でできる対応についてそれぞれが情報や意見を伝え合いながら歩み寄るやりとりこそが大切で市としての広報を続ける。ハローワークとの連携や地域事業所への出前講座など、「障がい者差別解消法改正」の啓発にも力を入れていく。【お答え: 福祉課課長】

再質問(平川こうじ議員)

Q 合理的配慮についてなど個々の対応について相談する窓口は?

A 困りや疑問は、市役所福祉課までお願いします。【お答え: 福祉課課長】



誰もが心豊かに
暮らせる臼杵市に



障がい者が、地域で発生する困りごとや障壁を知り、「どう共に生きていくか」という具体的な方法を話し合ったり、考え合ったりすることは「**だれにとっても住みよい地域を実現する**」ための道筋であることに他ならないと思います。

日常の暮らしに直接かかわる市の継続した取り組みや、意識の高まりがあってこそ法律(改正)の実効性が出るので、意識醸成の旗振り役として市役所全体で「**障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる臼杵市**」の実現を目指してほしいと切に願います。

2023年9月議会の一般質問では「電子黒板の導入について」質問しました。

教室の授業風景もデジタル化！1人ひとりの子どもに合った創造的な学びを

Q 臼杵市の小中学校では令和2年度に1人1台のタブレット端末が整備され教育におけるICTの活用が推進されるなか市内3校で電子黒板が導入されています。9月に教育民生委員会で電子黒板の授業を視察した際には、写真や動画で視覚的な理解をうながしたりそれぞれの意見をタブレットをつないで共有するなど、主体的・対話的な学びに意欲的にとりくむ様子が見られたことから、今後の電子黒板についての見解を聞きました。

A オンラインでの他校との交流や社会見学などさまざまな活用例も広がっており児童生徒の意欲や良好な学力にもつながっていることや、教職員のアンケートから、板書やプリントコピーの手間が省けたり準備時間が短縮されるといった業務の効率化に役立つという声も多いことから、市内小中学校のすべての教室に配備する予定である。【お答え：教育総務課長】

※もう1つの質問は、水道事業（管路の維持管理や今後の計画）について質問しました。

※詳しくは会議録で →



「陸上自衛隊大分分屯地に新設する火薬庫への長距離射程ミサイルの保管に反対する意見書」を提出

近隣に学校や病院、大分大学も立地する大分市敷戸の大分分屯地の火薬庫増設計画により、有事の際に攻撃対象となる可能性や、火災や事故が起きた際に被害範囲が拡大する危険性について不安が拭えず詳細な説明が必要…とする内容を提案しました。

会派代表者会議で協議された結果、反対多数で提出は見送られましたが今後も基地や訓練強化の動きを注視していきます。

12月議会教育民生委員会で審議した議案を報告

◎18才まで医療費を無償化にします。

本市では独自施策として令和4年7月から小中学生の通院医療費を無償化していますが、来年度(令和6年度)から対象期間を18歳になる年度までとし制度の拡充を図ります。

※この改正により臼杵市では、新生児から18歳まで通院も入院も薬局も全て無料。安心して子育てできる環境が一層整います。

※拡充に伴う経費は約2000万円と見込んでおり、助成事業全体経費は約1億1800万円。来年度の当初予算に計上される予定です。

◎給食配送車が新しくなります。

臼杵・野津学校給食センターに配備している給食配送車が老朽化しているため、配送車を新たに2台購入し、計画的に更新するものです(R3年～4年度予算ですでに4台更新済み)。

※設計金額 2219万52円

契約金額 1853万3900円

(いずれも2台分です)※納入期限は令和7年3月27日です。



こぼれ話

定位置(ストーブ前)から動かないうちのねこ。寒い日が続きますが身体をいたわりながら春を待ちましょう。

